

Gather

発行者：二丹 歩

文化祭・合唱コンクールへ向けて



合唱練習の様子

10月28日（木）合唱コンクールへ向けて、各クラスとも練習に熱が入ってきました。歌は人が歌うものなので、歌う人の人間性やクラスのカラーが色濃く反映されると思います。元気なクラスやしっかりと穏やかな歌声のクラス、男女の声が素敵にブレンドされているクラス、いつも練習に楽しく取り組んでいるクラスなどいろいろと見えてきて、私はとても楽しい時間を過ごさせていただいております。3年生は、ここ数日間ですごくレベルアップしています。歌唱力だけでなく、学級内での関係性や仲間を大切にできる心、リーダーを中心としたクラスのみならず、まとまりなど、集団でなければつげられない力を向上させながらしっかりと前に進んでいます。結果よりも、お子様のクラスでの「表情」に注目してご覧いただけたらうれしいです。



合唱コンクールプレ大会

10月22日（金）5・6校時に体育館で合唱コンクールプレ大会を行いました。当日文化センター大ホールをイメージして、スムーズに進行ができるよう動きを確認しました。その後、実際に体育館ステージで歌いました。目的は、人前で歌うことへの度胸をつけること、他クラスのすばらしさをお互いに認め合うこと、第3学年としての一体感、まとまりを感じることで、私が1・2年生の職員だとして一番ありがたいことは「目の前に3年生という立派な道しるべがいること」です。残り2日間ですが、やれることを全て本気でやってクラスの仲間と達成感を味わってください。3年生が合唱コンクールを通して、学年の仲間とともに一層成長することを期待しています。



三者懇談（進路選択・進路決定）へ向けて

来週より始まる三者懇談では、生徒一人ひとりの自主的な進路選択を考えて話を進めていきます。そのため、ご家庭で選択された高等学校、学科によっては最悪の場合を想定してお話をさせていただくことがあります。私立高校は募集定員のほとんどを第一回入試で合格させるため、第二回入試はさらに厳しいこととなります。したがって第一回入試で確実に合格をいただけるように進めていく必要があります。また、県立高等学校全日制の受検は、一般選抜と特色選抜の2種類があります。特色選抜入試（受検倍率は2～3倍程度）については、ただ単に「受検チャンスが2回ある」と考えるのは危険な場合があります。それは、特色選抜の受検内容が個人面接と作文か小論文であるということです。一般選抜では、ほとんど使用することのないこの2つを、通常の受験勉強と並行して準備していかなければなりません。人生で初めての人がほとんどであろう面接や小論文の練習をすることはかなりの労力を費やし、ほとんどの人が苦勞します。（もちろん、これからの人生を生き抜く上で、この経験は確実にプラスになります）さらに、2月14日（月）に特色合格発表がありますが、受けたからには合格したいのが人間の心情です。万が一希望する結果出なかった場合は、その3週間後の3月7日（月）に一般選抜があり、落ち込んでいる暇もありません。受けることを否定するわけではありません。そこまで先を見通して受検を決定してほしいと思います。生徒一人ひとりの輝く未来をみんなで考えていきます。お世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。